

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成29年11月9日 (2017.11.9)

【公表番号】特表2017-528372(P2017-528372A)
 【公表日】平成29年9月28日 (2017.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2017-037
 【出願番号】特願2017-516652(P2017-516652)
 【国際特許分類】

B 6 0 T 7/12 (2006.01)

B 6 0 T 13/74 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 T 7/12 A

B 6 0 T 13/74 G

【手続補正書】
 【提出日】平成29年3月27日 (2017.3.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

フットブレーキおよびパーキングブレーキを有する自動車においてパーキングブレーキ操作を実施するための方法であって、前記パーキングブレーキ操作のための全締付力を得るために、液圧式の力成分と機械式の力成分とが重畳される方法において、

前記 2 つの力成分の重畳を、パーキングブレーキ操作毎に行うことを特徴とする、パーキングブレーキ操作を実施するための方法。

【請求項 2】

電気機械式の力成分を自動化されたパーキングブレーキによって生ぜしめ、電気液圧式の力成分を液圧式のフットブレーキによって生ぜしめ、この際に前記 2 つの力成分の発生および重畳をパーキングブレーキ操作毎に行うことを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記パーキングブレーキ操作が少なくとも 1 回の力増大段階 (P 4) を含有しており、この際に、概ねすべての力増大段階 (P 4) 中に前記力成分の重畳を行うことを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記パーキングブレーキ操作の作動時に、第 1 のステップで前記電気液圧式の力成分を発生させることを特徴とする、請求項 2 記載の方法。

【請求項 5】

パーキングブレーキ操作時に所定の液圧式の圧力を生ぜしめることを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

第 2 のステップで前記電気機械式の力成分を生ぜしめ、特に前記第 2 のステップを前記第 1 のステップの後でまたは前記第 1 のステップと同時に実施することを特徴とする、請求項 4 記載の方法。

【請求項 7】

前記パーキングブレーキ操作の作動時に、第 1 のステップで前記液圧式のフットブレーキを作動させ、第 2 のステップで前記自動化されたパーキングブレーキを作動させ、特に

前記第 2 のステップを前記第 1 のステップの後でまたは前記第 1 のステップと同時に実施することを特徴とする、請求項 2 記載の方法。

【請求項 8】

全締付力が得られるまで、前記電気機械式の力成分の増大を実施することを特徴とする、請求項 2 記載の方法。

【請求項 9】

全締付力が得られた後で、前記電気液圧式の力成分を得るための手段の制御を解除することを特徴とする、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

全締付力が得られた後で、前記電気機械式の締付力を得るための手段の制御、並びに前記電気液圧式の力成分を得るための手段の制御を、概ね同時に解除することを特徴とする、請求項 8 記載の方法。

【請求項 11】

フットブレーキおよびパーキングブレーキを有する自動車でパーキングブレーキ操作を実施するためのコントロールユニット(9)において、

前記コントロールユニットが、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項記載の方法を実施するための手段を有している、パーキングブレーキ操作を実施するためのコントロールユニット。

【請求項 12】

液圧式のフットブレーキを有する自動車のための自動化されたパーキングブレーキにおいて、

前記パーキングブレーキが、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項記載の方法を実施するための手段を有している、自動化されたパーキングブレーキ。